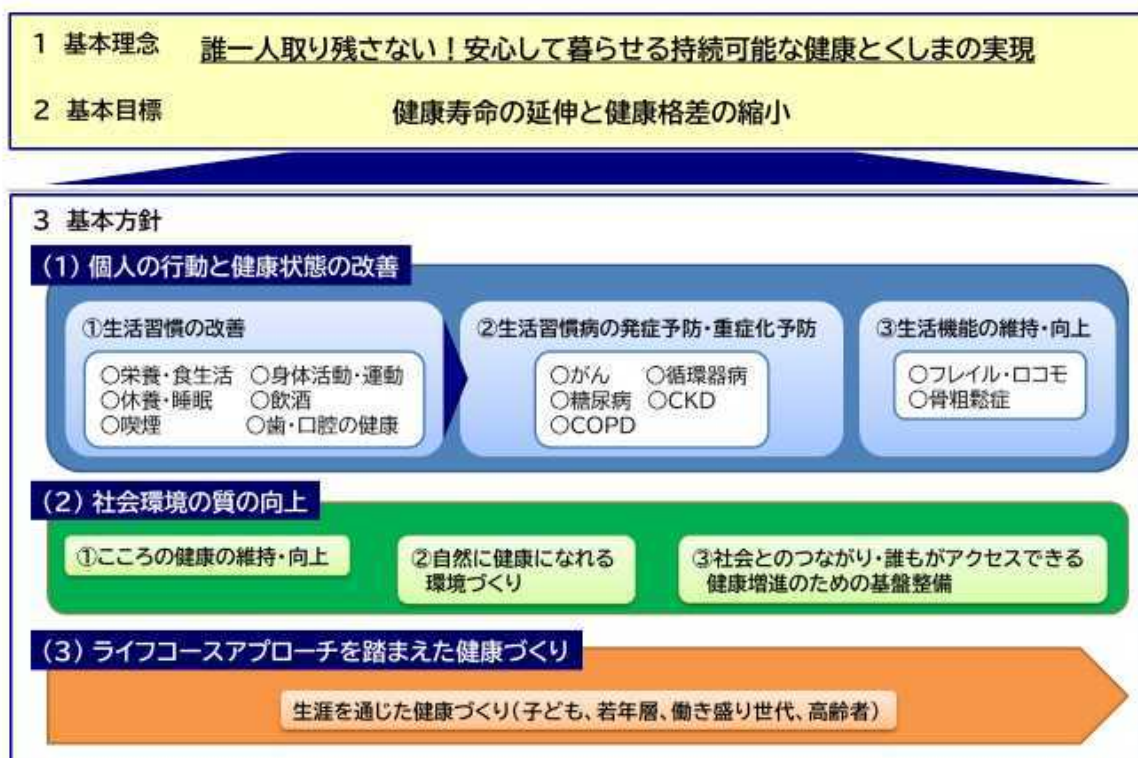


徳島県健康増進計画 健康徳島21（第三次） 進捗状況について

徳島県 保健福祉部 健康寿命推進課

健康徳島21（第三次）の概要

<全体像>



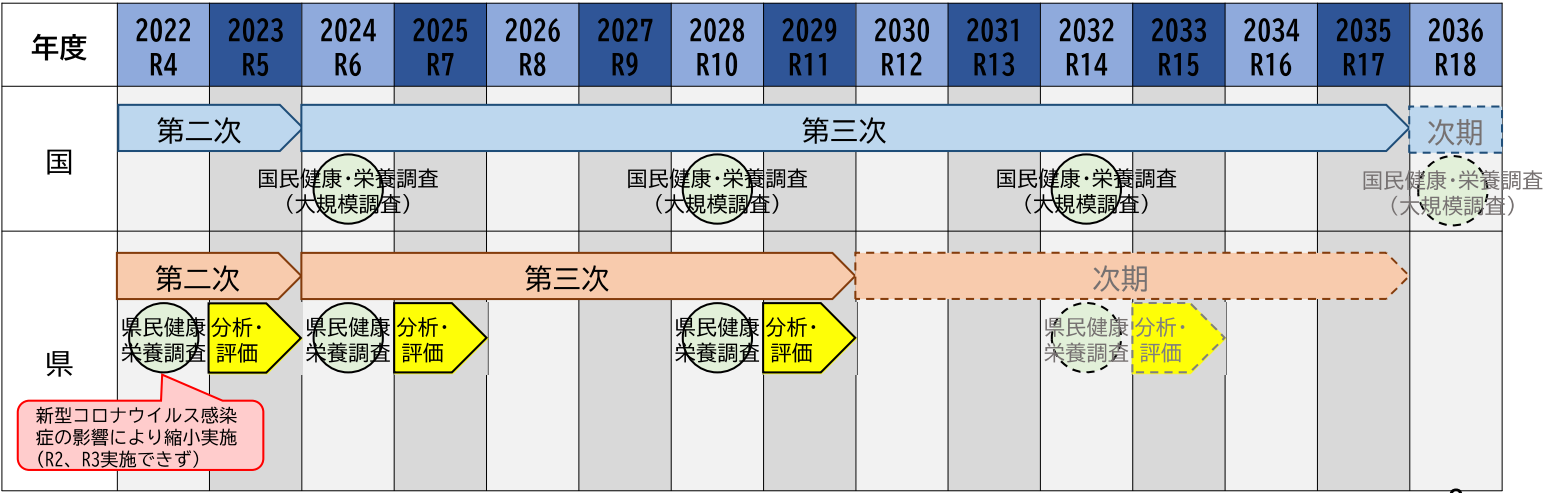
健康徳島21（第三次）のスケジュール

計画期間

- 令和6年度～令和11年度(6年間)
- 関連計画(医療計画、医療費適正化計画、がん対策推進計画、歯科口腔保健推進計画、アルコール健康障害対策推進計画、ギャンブル等依存症対策推進計画、循環器病対策推進計画等)と同期間

目標の評価

- 3年を目処に中間評価、最終年度に目標の達成状況等について評価



3

目標項目と進捗・取組状況

基本目標(健康寿命の延伸と健康格差の縮小)

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
1	健康寿命の延伸 (日常生活に制限のない期間の平均の延伸)	男性	72.13年 (R1)	72.03年 (R4)	「平均寿命」と「健康寿命」の差の縮小	国民生活基礎調査を基に算出(3年毎の大規模調査)
2		女性	75.03年 (R1)	74.83年 (R4)		
3	健康格差の縮小 (2次医療圏間の「日常生活動作が自立している期間の平均」の差の縮小)	男性	1.20年 0.76年	1.90年 (R5)	縮小	健康寿命推進課による把握(国保データベース)
4		女性	1.40年 0.99年	1.40年 (R5)		

(1) 進捗・達成状況

- 【No.1及び2】令和6年12月厚生労働省公表の令和4年値の健康寿命は、全国は男性72.57歳(0.11年短縮)、女性75.45歳(0.07年延伸)。本県は男性72.03歳(0.10年短縮)、女性74.83歳(0.2年短縮)。
- 【No.1及び2】平均寿命と健康寿命の差では、男性が8.82年、0.53年縮小(令和元年値9.35年)。女性が12.28年、0.28年拡大(令和元年値12年)。
- 【No.3及び4】2次医療圏間の「日常生活動作が自立している期間の平均」については、男性が0.5年拡大(南部80.5年－西部78.6年＝1.9年)。女性は変わらず(南部84.5年－西部83.1年＝1.4年)。

その他

- 目標項目「健康格差の縮小」について、ベースラインである策定時の令和4年度の数値に誤りがあったため、訂正予定。

目標項目と進捗・取組状況

栄養・食生活

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
5	肥満(BMI25以上)の割合の減少	男性 (20～60歳代)	39.5% (参考値)	—	28.0%	県民健康栄養調査
6		女性 (40～60歳代)	21.5% (参考値)	—	19.0%	
7	やせ(BMI18.5未満)の割合の減少	女性 (20～30歳代)	12.8% (参考値)	—	減少	県民健康栄養調査
8	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制	65歳以上	15.8% (参考値)	—	増加の抑制	県民健康栄養調査
9	食塩摂取量の減少	総数 (20歳以上)	9.8g	—	7.0g	県民健康栄養調査
10	脂肪エネルギー比率の適正化 (1日当たりの平均摂取比率の適正化)	総数 (20歳代)	31.1%	—	30%未満	県民健康栄養調査
11		総数 (30歳代)	30.0%	—	30%未満	
12		総数 (40歳代)	29.1%	—	30%未満	
13	野菜の摂取量の増加	総数 (20歳以上)	309g	—	350g	県民健康栄養調査
14	果物の摂取量が100g未満の人の割合の減少	総数 (20歳以上)	63.5%	—	30.0%	県民健康栄養調査
15	野菜の目標量を知っている人の割合の増加(適量を野菜料理5皿以上と思う人の割合の増加)	総数 (20歳以上)	36.1%	—	50.0%	県民健康栄養調査
16	朝食を欠食する人の割合の減少	男性 (20～30歳代)	31.2%	—	15%以下	県民健康栄養調査
17		女性 (20～30歳代)	30.7%	—	15%以下	

5

目標項目と進捗・取組状況

栄養・食生活

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
18	栄養のバランスを考えて食品を選んでいる人の割合の増加	男性 (20歳以上)	48.8%	—	50.0%	県民健康栄養調査
19		女性 (20歳以上)	79.6%	—	80.0%	
20	外食や食品を購入するときに栄養成分表示を参考にする人の割合の増加	男性 (20歳以上)	22.9%	—	25.0%	県民健康栄養調査
21		女性 (20歳以上)	43.2%	—	55.0%	

(1) 進捗・達成状況

・県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。

(2) 令和6年度の主な取組

・令和5年度4課(みどり戦略推進課、体育健康安全課、長寿いきがい課、健康寿命推進課)合同レシピコンクール入賞作品の商品化
・とくしま野菜週間における集中的な普及啓発
・食生活改善推進員(地域の食生活改善ボランティア)の指導育成・活動の支援
・給食施設の給食及び栄養管理に関する状況調査の実施
・給食施設個別指導(巡回指導を含む)、集団指導、給食施設関係組織の育成指導
・「健康とくしま応援団(健康づくり推奨店、野菜摂取量アップ対策)」に登録する飲食店等の普及拡大
・とくしま健康ポイントアプリ「テくとく」を活用した啓発
・令和6年県民健康栄養調査の実施

(3) 令和7年度の主な取組予定

・周知啓発について、令和6年度の取組を継続
・令和6年県民健康栄養調査結果の分析、課題抽出、次年度以降の施策への展開

6

目標項目と進捗・取組状況

身体活動・運動

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
22	日常生活における歩数の増加	男性 (20～64歳)	6,991歩	—	9,000歩	県民健康栄養調査
23		女性 (20～64歳)	5,989歩	—	8,500歩	
24		男性 (65歳以上)	5,390歩	—	7,000歩	
25		女性 (65歳以上)	4,850歩	—	6,000歩	
26	運動習慣者の割合の増加	男性 (20～64歳)	29.4%	—	36.0%	県民健康栄養調査
27		女性 (20～64歳)	16.6%	—	33.0%	
28		男性 (65歳以上)	38.8%	—	58.0%	
29		女性 (65歳以上)	39.0%	—	48.0%	

- (1) 進捗・達成状況
・県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。
- (2) 令和6年度の主な取組
・「とくしま健康ポイントアプリ『テクとく』」を活用したウォーキング大会の開催に係る運営団体に対する支援、健康イベントを実施
・「World Diabetes Day（世界糖尿病デー）」にあわせ、徳島県医師会をはじめとする関係団体と連携した「ブルーライト・ウォーキング」を実施
- (3) 令和7年度の主な取組予定
・引き続き、「とくしま健康ポイントアプリ『テクとく』」を活用した健康イベントの実施や「ブルーライト・ウォーキング」の実施等により、運動習慣の定着を図る。

目標項目と進捗・取組状況

休養・睡眠

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
30	睡眠で休養がとれている人の割合の増加	総数 (20歳以上)	71.7%	—	増加	県民健康栄養調査
31	睡眠時間が6～9時間(60歳以上については、6～8時間)の人の割合の増加	総数 (20歳以上)	50.7%	—	増加	

- (1) 進捗・達成状況
・県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。
- (2) 令和6年度の主な取組
・地域保健事業の活用に向け、厚生労働省公表「Good Sleep ガイド(ぐっすりガイド)」(成人版・こども版・高齢者版)を県内市町村等に周知
- (3) 令和7年度の主な取組予定
・適度な運動習慣を身につけることは、良質な睡眠の確保に役立つ(R6.2厚生労働省公表「健康づくりのための睡眠ガイド2023」)ことから、引き続き「とくしま健康ポイントアプリ『テクとく』」を活用した運動習慣の定着を推進するとともに、知識の普及に努め、睡眠時間の増加や質の向上を図る。

目標項目と進捗・取組状況

飲酒

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
32	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人(1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人)の割合の減少	男性	16.6%	—	13.0%	県民健康栄養調査
33		女性	8.4%	—	6.4%	
34	妊娠中の飲酒をなくす	妊婦	0.7% (R3)	0.6% (R4)	0.0%	乳幼児健康診査問診回答状況(こども家庭庁データ)

(1) 進捗・達成状況

- ・【No.32及び33】県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。
- ・【No.34】乳幼児健康診査問診回答状況(こども家庭庁データ)については、令和5年調査結果を令和6年度に取りまとめる予定のため、現状値には令和4年調査結果を記載している。

(2) 令和6年度の主な取組

- ・【No.32及び33】「徳島県アルコール健康障がい対策推進計画」に基づき、関係機関との連携のもと、学校や職場、地域において、正しい知識の普及啓発を実施
- ・【No.34】例年、プレコンセプションケアの一環として、若者世代を対象に妊娠中の飲酒のリスクや正しい健康知識の普及啓発を行うため講演会を開催

(3) 令和7年度の主な取組予定

- ・令和6年度の取組を継続する。

目標項目と進捗・取組状況

喫煙

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
35	20歳以上の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)	総数	17.1%	—	13.0%	県民健康栄養調査
36	妊娠中の喫煙をなくす	妊婦	2.1%	—	0.0%	子育て応援課による把握
37	「肺と健康に関する講座」等への参加者数	総数	1,000人	2,113人 (R5)	毎年1,000人	健康寿命推進課による把握

(1) 進捗・達成状況

- ・【No.35】県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。
- ・【No.36】「妊娠中の喫煙をなくす」については、地域保健・健康増進事業報告とともに令和5年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。
- ・【No.37】「肺と健康に関する講座」等への参加者数については、令和6年度実績を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値には令和5年度実績を記載している。

(2) 令和6年度の主な取組

- ・「徳島県がん対策推進計画」に基づき、たばこの害などに関する学校等での出前授業を実施
- ・例年、プレコンセプションケアの一環として、若者世代を対象に妊娠中の喫煙(及び受動喫煙)のリスクや正しい健康知識の普及啓発を行うため講演会を開催

(3) 令和7年度の主な取組予定

- ・令和6年度の取組を継続する。

目標項目と進捗・取組状況

歯・口腔の健康

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
38	80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合	80歳	36.7% (H28)	—	65.0%	歯科保健実態調査
39	60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合	60歳	76.4% (H28)	—	75%以上を 維持	歯科保健実態調査
40	60歳代における歯周炎を有する人の割合の減少	60歳代	59.6% (参考H28)	—	48.0%	歯科保健実態調査
41	3歳児でう蝕のない人の割合の増加	3歳	87.7% (R3)	89.5% (R4)	92.0%	地域保健・健康増進事業報告
42	12歳児でう蝕のない人の割合の増加	12歳	65.7% (R3)	72.1% (R5)	80.0%	学校保健統計調査
43	過去1年間に歯科健診を受診した人の割合の増加	総数	53.0% (参考値)	—	60%以上	歯科保健実態調査
44	70歳以上で飲み込みにくさを自覚している者の割合の減少	70歳以上	40.0% (参考値)	—	25.0%	歯科保健実態調査

(1) 進捗・達成状況

- ・【No.38～40、43及び44】歯科保健実態調査については、歯科疾患実態調査（国）の令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。
- ・【No.41】3歳児でう蝕のない人の割合については、令和3年度値に比べ令和4年度値は1.8%増加した。
- ・【No.42】12歳のう蝕のない人の割合については、令和4年度と比較して6.4%増加した。

目標項目と進捗・取組状況

歯・口腔の健康

(2) 令和6年度の主な取組

- ・令和6年歯科保健実態調査(県)、令和6年歯科疾患実態調査(国)を実施
- ・ライフステージ及びライフコース等に応じたう蝕予防、歯周病予防のための指導・啓発を実施
- ・関係者の連携強化や問題意識の共有化と知識・技術の向上を図るための歯科保健関係職員等の研修会や検討会を実施
- ・県歯科医師会との連携による、う蝕予防や歯周病予防についての指導・啓発を実施
- ・学校の健康課題にあわせた専門医を派遣し、歯科保健指導等を実施

(3) 令和7年度の主な取組予定

- ・令和6年歯科保健実態調査(県)、令和6年歯科疾患実態調査(国)の調査結果の分析、課題抽出、次年度以降の施策への展開
- ・ライフステージ及びライフコース等に応じたう蝕予防、歯周病予防のための指導・啓発の実施
- ・関係者の連携強化や問題意識の共有化と知識・技術の向上を図るための歯科保健関係職員等の研修会や検討会の実施
- ・県歯科医師会との連携による、う蝕予防や歯周病予防についての指導・啓発の実施
- ・引き続き、希望校に対して児童生徒の発達段階に合わせた歯と口の健康に関する専門医等を派遣する。

目標項目と進捗・取組状況

がん

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
45	がんの年齢調整死亡率の減少(人口10万対)	総数 (75歳未満)	67.8	62.1 (R5)	減少	国立がん研究センター・がん対策情報センター
46	胃がん検診受診率の向上	総数 (40～69歳)	※45.0%	—	60%	国民生活基礎調査 ○胃・肺・大腸・乳がん (40～69歳) ○子宮がん(20～69歳) ※2年以内に受診している者の受診率
47	肺がん検診受診率の向上	総数 (40～69歳)	46.4%	—	60%	
48	大腸がん検診受診率の向上	総数 (40～69歳)	40.5%	—	60%	
49	乳がん検診受診率の向上	総数 (40～69歳)	※43.3%	—	60%	
50	子宮がん検診受診率の向上	総数 (20～69歳)	※41.1%	—	60%	

- (1) 進捗・達成状況
- ・【No.45】がんの年齢調整死亡率(人口10万対)については、前年比較で減少している。
 - ・【No.46～50】国民生活基礎調査(大規模調査)については、令和4年値が最新値であるため、現状値を「—」としている。

- (2) 令和6年度の主な取組
- ・市町村が行うがん検診等の「オンライン予約のシステム」の導入(4自治体)
 - ・高校のがん教育への外部講師の派遣、子供から親等へがん検診受診を勧めるがんメッセージカード事業の実施
 - ・がん対策推進企業アクションと共催で、職域におけるがん対策の推進を図るセミナーの開催(R7.2.5)

- (3) 令和7年度の主な取組予定
- ・「がん検診等のオンライン予約のシステム」の導入自治体の拡大
 - ・学校が行うがん教育への外部講師の派遣の拡大(小学校、中学校への展開)
 - ・職域でのがん検診受診率向上に向けたセミナー等の実施

目標項目と進捗・取組状況

循環器病(脳血管疾患、心疾患)

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
51	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)	男性	92.9 (R2)	—	84.5	人口動態統計
52		女性	51.8 (R2)	—	47.1	
53	心疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)	男性	171.9 (R2)	—	156.4	人口動態統計
54		女性	108.2 (R2)	—	98.5	
55	高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)	男性 (40～89歳)	129mmHg (参考値)	—	低下	県民健康栄養調査
56		女性 (40～89歳)	125mmHg (参考値)	—	低下	
57	総コレステロールが240mg/dl以上の人の割合の減少	男性 (40～79歳)	—	—	減少	県民健康栄養調査
58		女性 (40～79歳)	—	—	減少	
59	LDLコレステロールが160mg/dl以上の人の割合の減少	男性 (40～79歳)	—	—	減少	県民健康栄養調査
60		女性 (40～79歳)	—	—	減少	
61	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	総数	△23.9% (R3)	△24.8% (R4)	△25% (H20との比較)	国保運営室による把握(厚生労働省データ)
62	特定健康診査の実施率の向上	総数	52.8% (R3)	52.5% (R4)	70.0%	特定健康診査・特定保健指導実施状況に関するデータ(厚生労働省)
63	特定保健指導の実施率の向上	総数	35.8% (R3)	36.2% (R4)	45.0%	
再	20歳以上の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)(再掲)	総数	17.1%	—	13.0%	県民健康栄養調査

目標項目と進捗・取組状況

循環器病(脳血管疾患、心疾患)

(1) 進捗・達成状況
・【No.51～54】人口動態統計の「都道府県別年齢調整死亡率の概況」については令和2年値が最新であるため、現状値を「－」としている。
・【No.55～60、再掲】県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「－」としている。
・【No.61】メタボリックシンドロームの該当者及び予備群については、令和3年度値に比べ令和4年度値は減少している。
・【No.62及び63】特定健康診査の実施率はほぼ横ばい、特定保健指導の実施率は令和3年度値に比べ令和4年度値はやや増加した。
(2) 令和6年度の主な取組
・「徳島県循環器病対策推進計画」に基づき、徳島大学病院に設置された脳卒中・心臓病等総合支援センターを中核とし、循環器病に関する正しい知識の普及啓発等を実施
・エビデンスに基づいた、より効率的で効果的な保健事業「データヘルス」の取組
(3) 令和7年度の主な取組予定
・令和6年度の取組を継続する。

目標項目と進捗・取組状況

糖尿病

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
64	合併症(糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数)の減少	総数	122人 (R3)	111人 (R4)	120人	「わが国の慢性透析療法の現況」(日本透析医学会)
65	治療継続者の割合の増加	総数	70.4%	－	75.0%	県民健康栄養調査
66	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の者の割合の減少)	総数	1.0% (R2)	0.9% (R3)	減少	NDBオープンデータ(厚生労働省)
67	糖尿病有病者の増加の抑制	総数 (40歳以上)	－	－	増加の抑制	県民健康栄養調査
68	糖尿病予備群推計数の増加の抑制	総数 (40歳以上)	－	－	増加の抑制	県民健康栄養調査
再	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(再掲)	総数	△23.9% (R3)	△24.8% (R4)	△25% (H20との比較)	国保運営室による把握(厚生労働省データ)
再	特定健康診査の実施率の向上(再掲)	総数	52.8% (R3)	52.5% (R4)	70.0%	特定健康診査・特定保健指導実施状況に関するデータ(厚生労働省)
再	特定保健指導の実施率の向上(再掲)	総数	35.8% (R3)	36.2% (R4)	45.0%	

(1) 進捗・達成状況
・【No.64】糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数については、令和3年値に比べ令和4年値は減少している。
・【No.65、67及び68】県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「－」としている。
・【No.66】令和6年5月厚生労働省公表のNDBオープンデータでは、令和2年度に比べ令和3年度値は0.9%(特定健康診査118,571人のうち1,115人)とほぼ横ばいである。
・【再掲】メタボリックシンドロームの該当者及び予備群については、令和3年度値に比べ令和4年度値は減少している。
・【再掲】特定健康診査の実施率はほぼ横ばい、特定保健指導の実施率は令和3年度値に比べ令和4年度値はやや増加した。

糖尿病

(2) 令和6年度の主な取組
・生活習慣の改善を図るため、栄養・食生活や身体活動・運動に係る各取組(周知啓発等)を実施 ・【再掲】エビデンスに基づいた、より効率的で効果的な保健事業「データヘルス」の取組
(3) 令和7年度の主な取組予定
・令和6年度の取組を継続する。

CKD(慢性腎臓病)

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
69	腎不全の年齢調整死亡率の減少(人口10万対)	男性	32.3 (R2)	—	減少	人口動態統計
70		女性	16.1 (R2)	—	減少	
71	年間新規透析導入患者数の減少	総数	325人 (R3)	307人 (R4)	減少	「わが国の慢性透析療法の 現況」(日本透析医学会)
再	食塩摂取量の減少(再掲)	総数 (20歳以上)	9.8g	—	7.0g	県民健康栄養調査

(1) 進捗・達成状況
・【No.69及び70】人口動態統計の「都道府県別年齢調整死亡率の概況」については令和2年値が最新であるため、現状値を「—」としている。 ・【No.71】年間新規透析導入患者数については、令和3年値に比べ令和4年値は減少している。 ・【再掲】県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。
(2) 令和6年度の主な取組
・CKD予防をはじめ、生活習慣の改善を図るため、栄養・食生活や身体活動・運動に係る各取組(周知啓発等)を実施 ・徳島県慢性腎臓病医療連携協議会をはじめとする関係団体との連携のもと、徳島県CKD二次診療医制度によるかかりつけ医と腎臓専門医との診療連携体制の構築を推進
(3) 令和7年度の主な取組予定
・令和6年度の取組を継続する。

目標項目と進捗・取組状況

COPD(慢性閉塞性肺疾患)

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
72	COPDの死亡率の減少(人口10万対)	総数	19.8	17.6 (R5)	16.0	人口動態統計
73	COPDの認知度の向上	総数	53.7%	—	80.0%	県民健康栄養調査
再	20歳以上の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)(再掲)	総数	17.1%	—	13.0%	県民健康栄養調査

- (1) 進捗・達成状況
- ・【No.72】 令和6年9月厚生労働省公表のCOPDの死亡率(人口10万対)では、令和5年値は17.6、令和4年値に比べ2.2減少した。
 - ・【No.73、再掲】 県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。

- (2) 令和6年度の主な取組
- ・COPDの早期発見・早期治療に係るポスターの行政機関や医療機関等での掲示
 - ・働き盛り世代が集まる見本市(徳島ビジネスチャレンジメッセ)での周知啓発
 - ・【再掲】「徳島県がん対策推進計画」に基づき、たばこの害などに関する学校等での出前授業を実施

- (3) 令和7年度の主な取組予定
- ・COPDの早期発見・早期治療に係るポスターの行政機関や医療機関等での掲示
 - ・たばこの害などに関する学校等での出前授業の実施、がん教育におけるがんとたばこの関係の授業の実施
 - ・働き盛り世代が集まる見本市(徳島ビジネスチャレンジメッセ)での周知啓発

目標項目と進捗・取組状況

フレイル・ロコモ

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
74	足腰に痛みのある高齢者の増加の抑制	総数 (65歳以上)	6万5千人	—	増加の抑制	国民生活基礎調査
75	フレイルサポーター養成数の増加	総数	441人	542人 (R5)	増加	長寿いきがい課による把握
76	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の認知度の向上	総数	52.1%	—	80.0%	県民健康栄養調査

- (1) 進捗・達成状況
- ・【No.74】 国民生活基礎調査(大規模調査)については、令和4年値が最新値であるため、現状値を「—」としている。
 - ・【No.75】 令和5年度には、実践地域に北島町が加わり、北島町を含む6実践地域にて、合計101名のフレイルサポーターが養成された。
 - ・【No.76】 県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。

- (2) 令和6年度の主な取組
- ・2月を「徳島県フレイル予防推進強化月間」とし、その初日である2月1日を「とくしまフレイル予防県民デー」と定めた。
 - ・なお、令和7年2月1日には、キックオフイベントとして、大型ショッピングモールにて普及啓発イベントを開催し、フレイルサポーターによるフレイルチェックや、活動紹介等を行い、フレイルサポーター活躍の場の創出や認知度向上を図った。

- (3) 令和7年度の主な取組予定
- ・県内11実践地域のフレイルサポーターを対象に、スキルアップや市町村を越えた交流会等、2月の「徳島県フレイル予防推進強化月間」に集中的な取組を実施し、フレイルサポーターの活動意欲向上を図る。またフレイルサポーターの増加や、新たな実践地域の設置促進に繋げる。

目標項目と進捗・取組状況

骨粗鬆症

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
77	骨粗鬆症検診実施市町村の増加	総数	17市町村	20市町村 (R6計画値)	24市町村	健康寿命推進課による把握

(1) 進捗・達成状況

・骨粗鬆症検診を実施している市町村は、令和5年度に18自治体に増加した。令和6年度は20自治体に増加の見込みである。

(2) 令和6年度の主な取組

・市町村が実施する健康増進事業に対して補助金を交付する。

(3) 令和7年度の主な取組予定

・市町村が実施する健康増進事業に対して補助金を交付する。

目標項目と進捗・取組状況

メンタルヘルス

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
78	一般かかりつけ医と精神科医の連携のための 会議(GP会議)の設置	総数	5	4 (R6)	3以上	健康寿命推進課による把握
79	産後ケア事業(宿泊型)実施市町村の増加	総数	9市町村	13市町村	24市町村	子育て応援による把握
80	従業員50人以上の事業所におけるストレス チェック制度導入事業所の割合の増加	事業所	81.6%	—	100%	徳島労働局による把握

(1) 進捗・達成状況

- ・【No.78】「一般かかりつけ医と精神科医の連携のための会議(GP会議)」については、県内3圏域にて設置済。
- ・【No.79】「産後ケア事業(宿泊型)実施市町村の増加」については、順調に増えている。
- ・【No.80】「ストレスチェック制度導入事業所の割合」については、取りまとめ作業中のため、現状値は「—」としている。

(2) 令和6年度の主な取組

- ・【No.78】圏域毎にGP会議を設置し、一般かかりつけ医と精神科医の連携を図った。
- ・【No.79】希望する方が県内どの地域においても産後ケア事業が受けられる体制を整備するため、全県的な実施に向けて事業の委託先となる実施医療機関の拡大や実施市町村数を増やすための広域調整を実施

(3) 令和7年度の主な取組予定

- ・【No.78】一般かかりつけ医と精神科医の更なる連携体制の構築に努める。
- ・【No.79】引き続き県内どの地域においても産後ケア事業が受けられる体制整備に取り組む。

目標項目と進捗・取組状況

自殺予防対策

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
81	自殺者の減少(人口10万対)	総数	12.5	16.1 (R6暫定値)	13.0以下を 維持	自殺統計(警察庁)

(1) 進捗・達成状況
・令和5年の自殺者数は100人となり、人口10万人当たりの自殺死亡率は、14.2と増加している。 ・令和6年の自殺者数は暫定値で112人となり、前年に比べて12人増加し、人口10万人辺りの自殺死亡率も、16.1と増加している。「50歳代の働き盛り世代」「高齢者」「男性」の自殺者数が増加している状況となっている。

(2) 令和6年度の主な取組
・居場所作りや交流活動へ、新たに取り組む民間団体への支援 ・職場や家庭、学校などで身近な相談者となる「心のサポーター」の養成 ・各市町村や社会福祉協議会など、「孤独孤立対策の相談支援機関」の体制強化
(重点期間(令和7年2月～3月)における取組)
・地域の民生委員に協力いただき、高齢者宅訪問時において、相談窓口等を掲載したチラシを配布 ・警察本部と連携し、免許更新センターでの啓発チラシの配布 ・「50歳働き盛り世代」に向けて、調剤薬局やドラッグストアへの啓発物の配布 ・「高齢者」に向けて、タクシー会社に協力を得て、啓発物を配布

(3) 令和7年度の主な取組予定
・「心のサポーター」の養成をより一層進めることに加え、「養成指導者」の確保・育成 ・とくしま自殺予防センター、自殺予防協定団体、市町村とともに自殺防止に向けた啓発や相談支援の展開
(孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム関係)
・各圏域における支援団体、教育機関等との連携促進に向けた「圏域サポートマッチング」の展開 ・若い世代の自殺予防に向けた県民・支援団体と協働した「官民協働シンポジウム」の開催 ・新たな支援活動に取り組む支援団体への助成によるプラットフォームへの参画や、先進的な支援活動の促進

目標項目と進捗・取組状況

自然に健康になれる環境づくり

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
82	大人の週1回以上のスポーツ実施率	総数	70.0%	66.1% (R6)	75.0%	スポーツ振興課による把握
83	ウォーキングイベントの参加者数の増加	総数	2,500人 (R3)	7,630人 (R5)	5,000人	健康寿命推進課による把握
84	日常生活で受動喫煙の機会を有する人の割合の減少	職場	19.5%	—	受動喫煙のない社会の実現	県民健康栄養調査
85		家庭	9.1%	—		
86		飲食店	9.9%	—		

(1) 進捗・達成状況
・【No.82】大人の週1回以上のスポーツ実施率は、微減している。 ・【No.83】とくしま健康ポイントアプリ「テクとく」を活用したウォーキング大会をはじめ参加者数は目標を達成した。 ・【No.84～86】県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。

(2) 令和6年度の主な取組
・【No.82】総合型地域スポーツクラブを対象に、「スポーツ教室の開催」や「健康づくり指導者の養成」等の取組を実施 ・【No.83】「とくしま健康ポイントアプリ『テクとく』」を活用したウォーキング大会の開催に係る運営団体に対する支援、健康イベントを実施 ・【No.83】「World Diabetes Day(世界糖尿病デー)」にあわせ、徳島県医師会をはじめとする関係団体と連携した「ブルーライト・ウォーキング」を実施 ・【No.84～86】受動喫煙が健康に及ぼす影響等の普及啓発を実施 ・【No.84及び86】「健康とくしま応援団(禁煙宣言事業所)」に登録する事業所の普及拡大

自然に健康になれる環境づくり

(3) 令和7年度の主な取組予定					
・【No.82】 総合型地域スポーツクラブを活用した幅広いスポーツ活動の場の提供に取り組む。					
・【No.82】 スポーツを通じた地域課題の解決に取り組みながら、各世代の日常的なスポーツ活動の場づくりを競技団体等と連携したスポーツ教室等を開催する。					
・【No.83】 「とくしま健康ポイントアプリ『テクとく』」を活用した健康イベントの実施や「ブルーライト・ウォーキング」の実施等により、運動習慣の定着を図る。					
・【No.84～86】 「健康とくしま応援団(禁煙宣言事業所)」の登録をはじめとする望まない受動喫煙の防止を図る。					

健康経営

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
87	健康経営に取り組む事業所数の増加(「健康宣言事業所」数の増加)	事業所及び 団体等	604	896 (R7.1.31)	1,300	健康寿命推進課による把握 (協会けんぽデータ)

(1) 進捗・達成状況					
・令和7年1月31日時点で896社となり、令和11年度目標値に対する達成率は68.9%となった。					

(2) 令和6年度の主な取組					
・未宣言事業所に対する文書によるエントリー勧奨の実施					
・宣言事業所限定特典の拡大(名刺やホームページ等に使用できるロゴマークの作成、健康づくりの専門家によるオンライン健康づくり講座の実施、健康情報誌の提供、事業別または業態単位の健診結果に基づく健康カルテの提供等)					
・医療費分析からみた、生活習慣病に関する健康課題を多く抱える業態に対するエントリー勧奨の実施					

(3) 令和7年度の主な取組予定					
・未宣言事業所に対する文書によるエントリー勧奨の実施					
・宣言事業所限定特典の拡大(健康づくりの専門家によるオンライン健康づくり講座の枠数を拡大)					
・事前に応じた健康セミナーの開催時にあわせて、未宣言事業所に対するエントリー勧奨の実施					

目標項目と進捗・取組状況

多様な主体による健康づくり

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
88	食生活改善推進員数の増加	総数	540人	493人 (R5)	増加	健康寿命推進課による把握
89	利用者に応じた食事を提供している特定給食施設の割合の増加	特定給食施設	81.1% (R3)	79.6% (R5)	83.0%	衛生行政報告例
90	栄養指導を実施している施設の割合の増加	給食施設	59.2%	59.1% (R5)	70.0%	特定給食施設等栄養管理状況調査
91	栄養表示等を実施している施設の割合の増加	給食施設	77.4%	77.9% (R5)	80.0%	特定給食施設等栄養管理状況調査
92	「徳島県がん検診受診促進事業所」の増加	事業所	53事業所	54事業所 (R6.4.1)	増加	健康寿命推進課による把握
93	県内NP0法人の設置数(保健、医療又は福祉の増進を図る活動)	NP0法人	181	186 (R5)	188	生活環境政策課による把握
94	住民主体の「通いの場」の数	累計	635 (R3)	615 (R4)	増加	長寿いきがい課による把握 (厚生労働省データ)
95	認知症カフェで活動する認知症サポーター数	総数	—	—	増加	長寿いきがい課による把握

(1) 進捗・達成状況

- ・【No.88】食生活改善推進員数については、高齢化により退会者数が新規加入者数を上回る傾向にある。
- ・【No.89】管理栄養士または栄養士を配置している特定給食施設については、令和3年度値と比べ令和5年度値はやや減少している。
- ・【No.90及び91】給食施設における栄養指導や栄養表示等の実施率は、ほぼ横ばいである。
- ・【No.92】徳島県がん検診受診促進事業所については、1事業所増。
- ・【No.93】「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」分野のNP0法人数はほぼ横ばいである。また、本分野におけるNP0法人の割合は20ある特定非営利活動分野の中で二番目に多い(50.8%)。
- ・【No.94】「通いの場」の令和4年度実績は、615箇所となっている。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛や休止等により、前年度と比べ20箇所減少した。令和5年5月に5類感染症へ移行したことを受け、開催箇所数の回復が見込まれる。
- ・【No.95】認知症カフェで活動する認知症サポーター数については、令和6年度結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。

27

目標項目と進捗・取組状況

多様な主体による健康づくり

(2) 令和6年度の主な取組

- ・【No.88】食生活改善推進協議会における食生活改善推進員リーダー等人材育成を支援
- ・【No.89～91】給食施設における栄養指導管理等に係る人材育成を支援
- ・【No.92】徳島県がん検診受診促進事業所の募集及び周知啓発の実施
- ・【No.93】NP0法人の設立・運営支援
- ・【No.94】専門職の知見に基づく実践的なフレイル予防として、リハビリ専門職団体及び県栄養士会と連携し、運動に加え、高齢者の低栄養予防の視点も取り入れた「通いの場」で実践できる徳島モデルプログラムを作成し、モデル地区において効果検証を図った。
- ・【No.95】認知症カフェは、チームオレンジの活動拠点の一つとなっており、チームオレンジ活動の中心となるコーディネーター養成研修や活動報告会等を開催し、横展開を図った。
なお、認知症サポーターについても、関係機関と連携し、養成に取り組んでいる。

(3) 令和7年度の主な取組予定

- ・【No.88】食生活改善推進協議会における食生活改善推進員リーダー等人材育成を支援
- ・【No.89～91】給食施設における栄養指導管理等に係る人材育成を支援
- ・【No.92】徳島県がん検診受診促進事業所の募集及び周知啓発の実施
- ・【No.93】NP0については、今後も、中間支援組織である「とくしま県民活動プラザ」を中心として、NP0法人の設立・運営支援を行っていく。
- ・【No.94】フレイル予防の普及啓発に取り組むとともに、「通いの場」での理学療法士をはじめとする専門職の介入の促進によって、「通いの場」と参加者の増加に繋げる。また、フレイル予防を通じた高齢者の防災力向上を目指して、専門職や市町村と連携し、避難所でも実施可能な「フレイル予防×防災体操」(仮称)や、低栄養に陥りやすい高齢者の「フレイル予防を考慮した防災食」の検討を行い、平時からの備えとして「通いの場」にて展開する。
- ・【No.95】関係機関と連携した認知症サポーター養成に取り組むとともに、チームオレンジのコーディネーター養成研修や活動報告会により認知症カフェ運営主体の増加を図る。

目標項目と進捗・取組状況

子どもの健康

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
96	3歳児健康診査の受診率の向上	総数 (3歳児)	95.2% (R3)	96.3% (R4)	100%に 近づける	地域保健・健康増進事業報告
97	朝食を毎日食べる子どもの割合の増加	男子 (小学5年生)	81.2%	81.2%	100%に 近づける	全国体力・運動能力、運動 習慣等調査
98		女子 (小学5年生)	80.3%	80.5%	100%に 近づける	
99	学校の体育の授業以外で、運動やスポーツをする時間(1週間あたり)の増加	男子 (小学5年生)	545分	520分	増加	全国体力・運動能力、運動 習慣等調査
100		女子 (小学5年生)	330分	331分	増加	
101	1日の睡眠時間が6時間未満の子どもの割合の減少	男子 (小学5年生)	3.8%	2.8%	減少	全国体力・運動能力、運動 習慣等調査
102		女子 (小学5年生)	2.6%	2.3%	減少	
103	全出生数中の低出生体重児割合の減少	総数	8.2% (R3)	7.3% (R4)	減少	人口動態統計
104	肥満傾向にある子どもの割合の減少(中等度・高度肥満傾向児の割合の減少)	男子 (小学5年生)	7.75% (R3)	6.92% (R5)	減少	学校保健統計調査
105		女子 (小学5年生)	5.23% (R3)	3.80% (R5)	減少	
再	妊娠中の飲酒をなくす(再掲)	妊婦	0.7% (R3)	0.6% (R4)	0.0%	乳幼児健康診査問診回答状況(こども家庭庁データ)
再	妊娠中の喫煙をなくす(再掲)	妊婦	2.1%	—	0.0%	子育て応援課による把握
再	3歳児でう蝕のない人の割合の増加(再掲)	3歳	87.7% (R3)	89.5% (R4)	92.0%	地域保健・健康増進事業報告
再	12歳児でう蝕のない人の割合の増加(再掲)	12歳	65.7% (R3)	72.1% (R5)	80.0%	学校保健統計調査

29

目標項目と進捗・取組状況

子どもの健康

(1) 進捗・達成状況

- ・【No.96】「3歳児健康診査の受診率の向上」については、地域保健・健康増進事業報告とともに令和5年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値は令和4年調査結果を記載している。
- ・【No.97及び98】小学校5年生の朝食を食べる子どもの割合については変化は見られなかった。
- ・【No.99及び100】小学校5年生男子の運動時間は減少している。女子の運動時間については変化は見られなかった。
- ・【No.101、102、104及び105】日の睡眠時間が6時間未満の子どもの割合、肥満傾向児の割合については減少している。
- ・【No.103】全出生数中の低出生体重児の割合については、令和3年度値に比べ令和4年度値は減少している。
- ・【再掲】乳幼児健康診査問診回答状況(こども家庭庁データ)については、令和5年調査結果を令和6年度に取りまとめる予定であり最新値が公表されていないため、現状値は令和4年調査結果を記載している。
- ・【再掲】「妊娠中の喫煙をなくす」については、地域保健・健康増進事業報告とともに令和5年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値は「—」としている。
- ・【再掲】3歳児でう蝕のない人の割合については、令和3年度値に比べ令和4年度値は1.8%増加した。
- ・【再掲】12歳のう蝕のない人の割合については、令和4年度値と比較して6.4%増加した。

(2) 令和6年度の主な取組

- ・【No.96】3歳児健診を含む乳幼児健康診査に従事する職員のスキルアップに関する研修や情報共有を行った。
- ・【No.97、98、101、102、104及び105】公立学校では、「生活習慣改善プロジェクト」を実施し、基本的な生活習慣改善や肥満対策等の健康課題解決のために計画的な取組を実施。
- ・【No.99及び100】小中学校において体力向上計画を作成し、運動習慣の形成や体力向上につなげた。
- ・【No.99及び100】親子でふれあい遊び、運動遊びの研修を実施。
- ・【No.99及び100】3市町の小学校において、子どもの屋外活動を促進する「元気なあわっ子！外遊び推奨事業」を実施。
- ・【No.97～102、104及び105】希望校の健康課題に即した専門医等を派遣し、児童生徒や教職員、保護者を対象とした研修会や講演会を実施。
- ・【No.103、再掲】例年、プレコンセプションケアの一環として、若者世代を対象に妊娠中の飲酒や喫煙(及び受動喫煙)のリスクや正しい健康知識の普及啓発を行うため講演会を開催。

(3) 令和7年度の主な取組予定

- ・各学校の実態や児童生徒の発達段階に合わせた取組を継続して実施する。
- ・令和6年度の取組を継続する。

目標項目と進捗・取組状況

若年層の健康

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
再	やせ(BMI18.5未満)の割合の減少(再掲)	女性 (20～30歳代)	12.8% (参考値)	—	減少	県民健康栄養調査
再	食塩摂取量の減少(再掲)	総数 (20歳以上)	9.8g	—	7.0g	県民健康栄養調査
再	脂肪エネルギー比率の適正化(1日当たりの平均摂取比率の適正化)(再掲)	総数 (20歳代)	31.1%	—	30%未満	県民健康栄養調査
再		総数 (30歳代)	30.0%	—	30%未満	
再	朝食を欠食する人の割合の減少(再掲)	男性 (20～30歳代)	31.2%	—	15%以下	県民健康栄養調査
再		女性 (20～30歳代)	30.7%	—	15%以下	

(1) 進捗・達成状況

・【再掲】県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「—」としている。

(2) 令和6年度の主な取組

・【再掲】生活習慣の改善を図るため、栄養・食生活や身体活動・運動に係る各取組(周知啓発等)を実施

(3) 令和7年度の主な取組予定

・【再掲】令和6年度の取組を継続する。

目標項目と進捗・取組状況

働き盛り世代の健康

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
再	肥満(BMI25以上)の割合の減少	女性 (40～60歳代)	21.5% (参考値)	—	19.0%	県民健康栄養調査
再	20歳以上の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)(再掲)	総数	17.1%	—	13.0%	県民健康栄養調査
再	60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合(再掲)	60歳	76.4% (H28)	—	75%以上を維持	歯科保健実態調査
再	胃がん検診受診率の向上(再掲)	総数 (40～69歳)	※45.0%	—	60.0%	国民生活基礎調査 ○胃・肺・大腸・乳がん (40～69歳) ○子宮がん(20～69歳) ※2年以内に受診している者の受診率
再	肺がん検診受診率の向上(再掲)	総数 (40～69歳)	46.4%	—	60.0%	
再	大腸がん検診受診率の向上(再掲)	総数 (40～69歳)	40.5%	—	60.0%	
再	乳がん検診受診率の向上(再掲)	総数 (40～69歳)	※43.3%	—	60.0%	
再	子宮がん検診受診率の向上(再掲)	総数 (20～69歳)	※41.1%	—	60.0%	
再	糖尿病有病者の増加の抑制(再掲)	総数 (40歳以上)	—	—	増加の抑制	県民健康栄養調査
再	糖尿病予備群推計数の増加の抑制(再掲)	総数 (40歳以上)	—	—	増加の抑制	県民健康栄養調査
再	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(再掲)	総数	△23.9% (R3)	△24.8% (R4)	△25% (H20との比較)	国保運営室による把握(厚生労働省データ)
再	特定健康診査の実施率の向上(再掲)	総数	52.8% (R3)	52.5% (R4)	70.0%	特定健康診査・特定保健指導実施状況に関するデータ(厚生労働省)
再	特定保健指導の実施率の向上(再掲)	総数	35.8% (R3)	36.2% (R4)	45.0%	
再	骨粗鬆症検診実施市町村の増加(再掲)	総数	17市町村	20市町村 (R6)	24市町村	健康寿命推進課による把握

働き盛り世代の健康

(1) 進捗・達成状況
・【再掲】県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「－」としている。
・【再掲】歯科保健実態調査については、令和6年歯科疾患実態調査(国)を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「－」としている。
・【再掲】国民生活基礎調査(大規模調査)については、令和4年値が最新値であるため、現状値を「－」としている。
・【再掲】メタボリックシンドロームの該当者及び予備群については、令和3年度値に比べ令和4年度値は減少している。
・【再掲】特定健康診査の実施率はほぼ横ばい、特定保健指導の実施率は令和3年度値に比べ令和4年度値はやや増加した。
(2) 令和6年度の主な取組
・【再掲】生活習慣の改善を図るため、栄養・食生活や身体活動・運動に係る各取組(周知啓発等)を実施
・【再掲】がん対策推進企業アクションと共催で、職域におけるがん対策の推進を図るセミナーの開催(R7. 2. 5)
(3) 令和7年度の主な取組予定
・【再掲】引き続き、生活習慣の改善や健診(検診)受診率の向上を図る取組を推進する。

高齢者の健康

No.	目 標 項 目		策定時の 現状(R4)	現状値 (最新値)	目標 (R11)	データソース
再	80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合(再掲)	80歳	36.7% (H28)	－	65.0%	歯科保健実態調査
再	70歳以上で飲み込みにくさを自覚している者の割合の減少(再掲)	70歳以上	40.0% (参考値)	－	25.0%	歯科保健実態調査
再	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制(再掲)	65歳以上	15.8% (参考値)	－	増加の抑制	県民健康栄養調査
再	足腰に痛みのある高齢者の増加の抑制(再掲)	総数 (65歳以上)	6万5千人	－	増加の抑制	国民生活基礎調査
再	フレイルサポーター養成数の増加(再掲)	総数	441人	542人 (R5)	増加	長寿いきがい課による把握
再	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の認知度の向上(再掲)	総数	52.1%	－	80.0%	県民健康栄養調査
再	住民主体の「通いの場」の数(再掲)	累計	635 (R3)	615 (R4)	増加	長寿いきがい課による把握 (厚生労働省データ)
再	認知症カフェで活動する認知症サポーター数(再掲)	総数	－	－	増加	長寿いきがい課による把握

(1) 進捗・達成状況
・【再掲】歯科保健実態調査については、令和6年歯科疾患実態調査(国)を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「－」としている
・【再掲】県民健康栄養調査については、令和6年調査結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「－」としている。
・【再掲】国民生活基礎調査(大規模調査)については、令和4年値が最新値であるため、現状値を「－」としている。
・【再掲】フレイルサポーター養成数の増加については、令和5年度には、実践地域に北島町が加わり、北島町を含む6実践地域にて、合計101名のフレイルサポーターが養成された。
・【再掲】「通いの場」の令和4年度実績は、615箇所となっている。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛や休止等により、前年度実績より20箇所減少した。今後については、令和5年5月に5類感染症へ移行したことを受け、開催箇所数の回復が見込まれる。
・【再掲】認知症カフェで活動する認知症サポーター数については、令和6年度結果を令和7年度に取りまとめる予定のため、現状値を「－」としている。

高齢者の健康

- (2) 令和6年度の主な取組
 - ・【再掲】2月を「徳島県フレイル予防推進強化月間」とし、その初日である2月1日を「とくしまフレイル予防県民デー」と定めた。なお、令和7年2月1日には、キックオフイベントとして、大型ショッピングモールにて普及啓発イベントを開催し、フレイルサポーターによるフレイルチェックや、活動紹介等を行い、フレイルサポーター活躍の場の創出や認知度向上を図った。
 - ・【再掲】専門職の知見に基づく実践的なフレイル予防として、リハビリ専門職団体及び県栄養士会と連携し、運動に加え、高齢者の低栄養予防の視点も取り入れた「通いの場」で実践できる徳島モデルプログラムを作成し、モデル地区において効果検証を図った。
 - ・【再掲】認知症カフェは、チームオレンジの活動拠点の一つとなっており、チームオレンジ活動の中心となるコーディネーター養成研修や活動報告会等を開催し、横展開を図った。なお、認知症サポーターについても、関係機関と連携し、養成に取り組んでいる。
- (3) 令和7年度の主な取組予定
 - ・【再掲】県内11実践地域のフレイルサポーターを対象に、スキルアップや市町村を越えた交流会等、2月の「徳島県フレイル予防推進強化月間」に集中的な取組を実施し、フレイルサポーターの活動意欲向上を図る。またフレイルサポーターの増加や、新たな実践地域の設置促進に繋げる。
 - ・【再掲】フレイル予防の普及啓発に取り組むとともに、「通いの場」での理学療法士をはじめとする専門職の介入の促進によって、「通いの場」と参加者の増加に繋げる。また、フレイル予防を通じた高齢者の防災力向上を目指して、専門職や市町村と連携し、避難所でも実施可能な「フレイル予防×防災体操」（仮称）や、低栄養に陥りやすい高齢者の「フレイル予防を考慮した防災食」の検討を行い、平時からの備えとして「通いの場」にて展開する。
 - ・【再掲】関係機関と連携した認知症サポーター養成に取り組むとともに、チームオレンジのコーディネーター養成研修や活動報告会により認知症カフェ運営主体の増加を図る。